

## 人を愛し、地域を愛するー田中信雄さんに思うー

佐藤 庄一

5月31日に「山形県立博物館友の会」の設立総会が開かれ、正式に友の会の発足がなされた。この会の設立に向けて尽力された田中信雄さんの願いがようやくかなった時であり、感激もひとしおであった。

田中さんとは、平成15年に県立博物館の副館長から文化財保護室長として赴任された時から、身近なお付き合いをさせていただいた。平成15～18年度の文化財保護室の室長時代、田中さんは私が埋蔵文化財の専門技術職員であることを知り、本来は私の室長補佐の仕事である細かい事務をご自分で引き受けて下さり、私には企画や現場の指揮などをかなり任せていただいた。



私や部下が話をするといつもニコニコと聞いてくれ、少しおかしなことがあると、「庄一あん、ホンとだがえー。間違いないが?」という軽い調子で注意してくれた。東北大学文学部で歴史を専攻されたこともあり、文化財に対する造詣は深く、山形県史編さん室で仕事を手伝った頃の話などを楽しそうになされたものである。ただし信条は曲げず、筋の通らない話をされると、上司だろうが県会議員だろうが、その場で直接言うことは少なくなったが、あれはおかしい。」と、あとまで本気で怒っていた。

休憩や昼時にいつも話が出るのは、県立博物館のこととママさんバレーのことであった。とくに博物館友の会については、「何としても友の会を作らなければならない。博物館の副館長をしていた時からの宿題だ。」と、言われていた。生涯学習財団に勤められてからも何回か文化財保護室を訪れ、友の会の進捗状況や県内の団体との連携についていつも熱っぽく語られていった。話の内容から、友の会の準備が少しずつ進んでいることがうかがえた。

また、地区のママさんバレーのコーチやソフト・ボールの集まりは、田中さんにとって格好の息抜き（生きがい?）のようであった。県庁の室長という忙しい職にありながら、なぜそんなに地域のボランティアに参加できるのか不思議であったが、それは田中さんが本当に人を愛し、人と活動するなかで、地域を愛していったからだと思う。



18年3月退職時

文化財保護室一年目の11月、私が胃がんの手術を終えて退院してきたら、引続き田中さんも胃がんの手術で入院したのには驚いた。その後は順調に回復されたと思っていたところ、今年の3月に急逝された。奥さんからは、一時体調を崩したが、正月はご家族で赤湯の旅館に泊まれるほどに回復し、4月から好きなことに専念したいと言っていたと、お聞きした。

満62歳での死去は余りにも早い。田中さんは「友の会」に何を夢みたのだろうか。山形県で唯一の総合博物館でありながら、予算

が少なく新博物館の見通しも難しいという状況を身をもって体験し、民間の組織の支えを期待したことは勿論であるが、それ以上に人を愛し地域を愛すること、つまり博物館に人と人が出会い、活動する場所を作りたかったのだと思う。 合掌

## ——平成20年度 特別展「庄内の自然 - 大地と生き物の移り変わり -」——

庄内地方は、日本海を流れる暖流の影響を受け、内陸地方では見られない多彩な自然環境をもっています。この地方の地質的な成り立ちやそこに棲む生き物の移り変わり、人とのかかわりなどを通して、庄内地方の自然環境を見つめ直していきます。

- **開催期間**：平成20年9月6日～11月23日  
(但し10月18日から10月27日までは燻蒸のために休館します)
- **会場**：山形県立博物館 第3展示室
- **特別展記念講演会**
  - 9月6日 新種がぞろぞろ - 庄内地方の植物の特色とその地史的背景を探る -  
フロラ山形 副会長 土門尚三 氏
  - 10月4日 庄内地方の地形とその成り立ち  
生涯学習施設 里仁館 館長 植松芳平 氏
- **ギャラリートーク**  
9月7日 11月3日 午後1時半より



### 主な展示構成

#### (1) 大地の歴史と化石

庄内の大地の生い立ちについて化石を取り上げて紹介します。また、県内では庄内地方にのみ産出される石炭や石油についても紹介します。

#### (2) 先史のくらしと生き物

庄内地方の遊佐町小山崎遺跡から多数出土している動物遺骸の骨を中心にこの時代の生き物と人々の暮らしを紹介します。

#### (3) 庄内砂丘と海岸林

長さ約34km、面積約55km<sup>2</sup>で、長さは日本一の庄内砂丘は、クロマツなどを中心とした防風林に覆われています。美しい景観を守ってきた防風林の歴史を先人たちの業績とともに紹介します。

#### (4) 図譜に描かれた動物

江戸時代後期から明治にかけての庄内地方に棲んでいた生き物が精密な彩色図として残されています。図譜を描いた博物学者と彼らの残した図譜から当時の庄内の自然を読み解いていきます。

#### (5) トピック“庄内の生き物”

今回の展示会の調査の中で明らかになった生き物の生態や庄内地方の特色を良く表している生き物たちを紹介します。

# 第1回 山形県立博物館友の会役員会 記録

2008年7月18日(金) 15時～17時  
山形県立博物館会議室

出席者 石島庸男、奥山武(司会)、市村幸夫、佐藤庄一、高橋一夫、渡辺徹、野口一雄、  
吉田哉、深瀬光男、真壁敬子、高山和子、永幡智子(12名)

## ■会長より

役員全員出席を感謝する。第一回役員会で、いよいよ本格的なスタートを切ることになる。

## ■経過(総会以降)説明

設立総会(5月31日)参加者36名、本加入受付を開始。▶会報創刊号6月11日発行、  
B4二つ折4ページ、100部。▶会報発送(6月27日)、世界遺産育成企画展「最上川と  
人びとのくらし」開展式の案内同封。開展式・内覧会を会員特典として提供。▶友の会口座の  
整備完了。▶入会状況は、個人会員40名、家族会員4家族8名、合計48名。仮会員(会費  
未納者)12名。(7月17日現在)

## ■議事

### 1 今年度の事業

#### \*講演会

石島会長を講師として「寺子屋(その2)」と「教育県山形」をテーマに年度内に2回企画。  
対象は会員および一般。広報は関係団体への案内やチラシ作成。時期は会長と事務局とで協議。

#### \*学習会

今年度実施は急がず、来年度の総会で、参加者に興味あることを述べてもらい、学習会へ発  
展させることを考える。教育資料館で学習会を行っており、その様子を会報に掲載することも  
可能。

#### \*20年度特別展 展示図録「庄内の自然—大地と生き物の移り変わり—」の発行

友の会として200部印刷予定。今年度以降の友の会出版物を会員割引することを検討。昨  
年度までの出版物については、在庫状況調査が先決。今年度の図録は、一般価格の2割引程度  
100円単位の割引とする。図録の種類・購入方法が会員に周知されていないので、会報を通  
じて紹介する。

#### \*友の会会報

様式は、2号よりA3版二つ折にする。内容は、故田中信雄氏(友の会よびかけ人代表)に  
ついて、図録の案内、博物館からのお知らせ、友の会に期待するもの(会員から)、役員会報  
告などを盛り込む。

#### \*会員募集

入会案内を図版や色紙印刷で親しみやすいスタイルにする。▶博物館HPに友の会会員募集  
について掲載を依頼する。▶会報発送時に入会案内を同封して、各会員から知人に紹介して  
もらう。

#### \*会員等からの意見・要望・質問に対する対応

会員特典として、入館料免除になるように博物館に働きかける。▶資料整理に協力したいと  
いう要望については、条件整備の必要がある。▶友の会独自の出版物について、朝日新聞への  
連載が終了した「学芸員の宝もの」などを検討。

## 2 これからの友の会活動

ミュージアムショップの開設には、税金・光熱費負担も考える必要が出てくる。▶山形県立博物館ボランティア（平成8年より展示室案内活動。20年度会員数52名）との連携を考え、ボランティア会員に友の会の趣旨を説明して理解を促したい。▶環境整備への協力として、博物館にフラワーポットを配置したり、修繕を行うことも検討したい（費用負担、労力負担両面から）。

### 博物館出版物のご案内

博物館が独自に出している出版物があることをご存じですか？

おおまかに言うと、①展示図録（博物館で開催した展示会についてまとめたもの）②調査研究報告（博物館で行った調査研究の報告書）③資料目録（博物館に展示されたり収蔵されている資料の目録）の3種類があります。これらは、博物館1階の相談コーナーで見ることができます。また、①展示図録と②調査研究報告の一部については、一般の方にも購入していただけるように、友の会で印刷している分もあります。直接博物館まで来られない方のために、ご希望があれば郵送して販売することもできます。

友の会会報では、これまでに出版された展示図録などを取り上げて、次号から紹介していきたいと思えます。

### 山形県立博物館からのお知らせ

7月19日（土）世界遺産育成企画展「最上川と人びとのくらしー川絵図を読み解くー」が開催しました。山形県では「最上川の文化的景観」と題して、世界遺産国内暫定リストへの登録を目指し取り組んでいます。本館でもそれに協力し本企画展を開催しました。この展示会の目的は、「最上川に対する県民意識を醸成する1つの手段として、現存する川絵図を読み解くことで、当時の主要な交通手段であった舟運をより身近なものとして感じてもらう。」ということにあります。県民の関心は徐々に高まりつつあり、連日多くの方々に来場されています。8月24日（日）までの開催ですので、お見逃しの無いよう早めに来館ください。17日（土）午後1時30分からはギャラリートークがあります。

企画展にかかわる講演会は、7月19日、26日、8月2日の3回実施されました。また、夏休みの企画として、「高校生学芸員1日体験」が8月5日、6日、小学生向けの「化石のレプリカ作り」が8月7日、8日開かれ、いずれも多数の参加者で盛況した。

9月6日（土）からは特別展「庄内の自然ー大地と生き物の移り変わり」が開催されます。庄内の地質的な成り立ちやそこにすんでいた生き物の移りわりを中心に、それに関係する考古や歴史を含めた展示となります。5日（金）には開展式がありますので出席をお願いします。なお、会期は11月23日（日）までです。